

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 研修室
- ◆ 出席委員：新野・久我・佐藤・三宮・武本・牧委員 …6 名
- ◆ オブザーバー：保安院／竹本所長 熊谷防災専門官 エネ庁／七部所長
新潟県／山田原子力安全対策課長 藤田副参事
柏崎市／名塚防災・原子力課長代理 村山主任
刈羽村／武本総務課長補佐 田中主任 東電／西田技術担当部長 森 GM 宮武
- ◆ 事務局：広報センター／井口事務局長 石黒主事

次回以降定例会内容について

◆ 8 月定例会（8 月 4 日）

〈会長〉 前回運営委員会で、8・9 月に防災を取り上げることにした。8 月は以前の防災計画から新たに変わった点を説明してもらい、それに対する質疑。9 月はより具体的なことがわかってくれば防災訓練までに意見や要望が出せるかと思っているが、防災訓練のスケジュールはどうなっているか。

〈県〉 現在は 11 月 5 日（金）を予定して準備を進めている。想定は、豪雪。災害対策本部が設置された体制の中で原子力発電所にトラブルが発生したという複合災害を想定している。

8 月であれば、訓練の概要と地域防災計画がどう改訂され、実際にうまくいくかどうかこういう想定で訓練をしてみたいという話ができる。9 月になると、ほぼ内容が固まった後になってしまう。8 月の段階で、意見交換の時間がいただければ踏まえた準備が出来るのではないかと思う。

〈市〉 住民避難訓練がメインであり、対象地区として中通地区から内諾を得ている。当初計画では長岡方面へ避難することになっているが、豪雪を想定しているので、総合体育館へ避難する予定。

また発電所 2 km 圏内地域である、荒浜と大湊地域からも参加してもらってはどうかと内部で検討している。決まったら早急に調整したい。

〈村〉 村も住民避難訓練を行うが、特定地域は選定せず全ての集落から約 50 名の参加者を募り、当初計画通り長岡方面への避難を想定している。ただし豪雪を想定しているので迂回路を使いながらの避難を想定している。

〈会長〉 複合防災の新たな視点をもって防災計画がどう変わったのか、説明いただき、加えて防災訓練の概要も説明いただくことでいいだろうか。

〈県〉 昨年、一度、地域防災計画について説明したが、その時点では市村はまだ出来ていない状況だった。基本的には県の地域防災計画と大きな差はない。県ではもう少し細かいものとして、決定ではないが「避難基本方針」というものがあるので、それにも触れながらご意見をいただきたい。

〈市〉 基本的には計画の修正は県の修正に準じている。より具体的ということでは、前回修正した際に「避難マニュアル」を作成したり、それらについて今回、複合災害を勘案したものを、意見を聞きながら現在まとめているので、案の段階だが説明できると思う。

前回、ヨウ素剤の分散配置をしているのでその話も説明したい。

〈村〉村も基本的には計画の修正は県の修正に準じている。「避難基本計画」については着手中なので概要説明ができると思う。

〈会長〉以上の説明に加え質疑で時間いっぱいだろう。防災訓練前に2回取り上げ、終わってからもう1回取り上げないといけないかもしれない。

【決定事項】

- ・ 防災計画、避難基本方針等の概要説明（県、市、村）
- ・ 防災訓練の概要説明（県）

◆ 9月定例会（9月1日）、10月定例会（10月6日）

〈会長〉9月はもっと具体的な話になるか。

〈県〉おおまかな輪郭は説明できると思う。

〈会長〉ではもう少し詳しい報告を9月にさせていただく予定とし、8月、9月と2回にわたって取り上げたい。

〈県〉11月5日の訓練の前に、オフサイトセンターに関係機関の要員が集まって行う「事前訓練」を予定している。公開で行うので、地域の会からも見ていただければと思う。

9月16日（木）、17日（金）の予定で、見ていただくのは17日になるかと思う。要員にシナリオを示さないで行う訓練となる。

〈委員〉事前訓練は大雪を想定しているのか。

〈県〉11月5日の訓練の要素を全く同じではないが、ある程度取り込む予定。

〈会長〉では、8、9月の内容と防災訓練に関してはよいか。

〈委員〉訓練が11月5日なので、定例会で取り上げる2回目は9月か10月のどちらかがいいのではないか。

〈委員〉防災ばかりを取り上げることにもなってしまう。10月の方がいい気もする。9月については、8月運営委員会で決めてもいいのではないか。

（委員 了解）

【決定事項】

- ・ 9月の内容は次回運営委員会にて協議する。

臨時会を受けて

〈会長〉臨時会で出された課題がいくつかある。運営委員会で結論を出すというより、どこかで全体協議をする必要があるだろう。

〈委員〉委員任期が来年4月末なので、それまでに方向性を出すというなら、年内にこの議論をしなければ間に合わない。

〈委員〉9月か10月のどちらかが空いているから予定として入れておいてはどうか。

（委員 了解）

〈委員〉「皆さん、どうですか」ではなく、臨時会で出された課題を整理して、予め委員に送り、いずれの機会かに議論したい旨を、事前案内すれば、それなりに皆さんに考えてもらえるのではないか。

（委員 了解）

〈会長〉委員であることにとってもプレッシャーを感じながら発言しているなどと思う方が数名いる。住民なら誰でもできる仕事であることを忘れないでほしい。本当は勉強しないと

発言できないとか休んだから次はわからないという話ではない。「わからない」のも重要な答えのひとつというくらいの気安さが必要と思う。

【決定事項】

- ・臨時会で出された課題に対し各自意見をまとめる。(事務局は案内文送付する)

視点42号

〈会長〉「視点」の内容について、臨時会で課題がいくつか出された。(第7回臨時会概要参照)
発行当初は、委員発言をできるだけ正確に記載することに重きがおかれた経緯もあったが、それに捉われず、より住民にわかりやすい情報、見やすい誌面などの意見もあったことから、事実は曲げないが表現を変えたり、読みやすく順番を変えたりという工夫はしてもいいと思う。

削るのは簡単だが、内容のバランスをくずしては意味がない。残すべきものは残し、適正な文量に組み替えるのが編集の役割だろう。

(委員 了解)

【決定事項】

- ・第84回原稿は、事務局案を読みやすくして校了。

その他

○エネ庁配布資料について

〈エネ庁〉原子力政策大綱について、見直しが必要かどうかの検討を行うことが原子力委員会で決定した。有識者や一般市民から意見を聴いたりパブリックコメントを募るなどして、その必要性の有無を検討する。その資料を参考配布させていただいた。

○保安院配布資料について

〈保安院〉「原子力安全規制情報会議」の開催に伴い、多様なステークホルダーから意見をきくということで、新野会長に出席を要請したい。

〈会長〉地域の会の視点の延長で参加できればと思っている。

(委員 了解)

○産学連携フォーラム(機械学会)について

〈会長〉機械学会からフォーラムへの参加を求められている。今までなかった視点からも意見を聞くことのように、地域の会でやっているようなことが情報として知りたいとのこと。皆さんの活動の一環を説明し、私的な感想を述べることになると思うが、受けさせていただきたいと思うがどうか。

(委員 了解)

次回運営委員会

8月19日(木) 18:30～ 柏崎原子力広報センター